

# 深・魅力通信

## 保幼小・小・中が繋がる袋井あやぐも学園

12月15日、袋井中学校で袋井あやぐも学園拡大推進委員会が行われました。学園の推進委員に加え、東・西・田原・若草・若葉幼稚園からの代表者が参加しました。今回は、「子どものためにいっぱい意見を」「Do what you can」をキーワードに、「保育園・幼稚園・こども園と小学校の接続・連携」と「1年後の学園の姿」について熱く語り合いました。



学園拡大推進委員会 2020.12.15 「Do what you can」 人・情報・思いを分かちあう = 幼保二園と力を合わせて 幼保二園の声をしっかりと聞きたい

① 幼保二園の接続・連携について  
 ② 1年後の学園の姿について

若葉幼 小の1日と矢の3 旧見ゆ日か貴重  
 子どもの姿で 幼保二園で 矢の3とは別に研究する  
 研究協議会にも参加してほしい  
 気持ち育つ 子どものやり方 → 学びの場

教育課程に反映 課題が多い袋井地区 子どもの理解が大事  
 7年かかっている 学園でシステム 学校システム  
 不登校 非社 保護者 子ども 思いを分かちあう

田原幼 運動靴の研習会に参加 同じ場にいることの大切さ 人のつながり  
 「ふりかざり個表」 西小の先生方が来た  
 西幼 保育参観 来てほしい!! 知る 学びの場  
 園内研にも参加したい 話し合いしたい 学びの場  
 東幼 「ふりかざり個表」 小1までではもたない 小中のことを知りたい 小 → 小 → 中へ  
 校内研にも参加したい  
 アプローチプログラム } のつながり 見たい? 求められ...

若草幼 保幼小連絡会 学びの場  
 遊びの中で学ぶ → アプローチの場  
 できた・できないは 努力 様子でわかる  
 要録は... 子どもの様子でわかる

★ ふりかざり個表の活用 計画は... 北浦先生が かんはる  
 ★ 共に研習をしたい  
 ★ 学園カリキュラムづくり ねらいを相互に実態に合わせて

幼稚園の実態  
 けんかできない (押し付け) 自分と他人は... 保護者のクオースト  
 カラに感じてるわけが... 心に頭がわかる 自分で解決できる  
 トライアンドエラー... 押しつけられている? 「いじり」? 「さげすみ」?  
 保護者の答えをきく → 子どもの  
 正しいと考える親 自分も気づかせる  
 「いじり」? 「さげすみ」? 親子の割合は?

これをチャレンジしたい。子どものために

中 幼児教育を知り 研習する  
 ・非認知能力を育てたい 主体性  
 ・同じメンバー 一貫して情報交換  
 ・レジリエンスとは?

拡大推進委員会 次もぜひ話し合おう 10Xを考える

小 「ごめんね、いよ」 大丈夫なのかな? エピソードを知り  
 幼 「何」「何」「どうして」を 大切にしていきたい。

そのアプローチを 共通理解する  
 活用する方法をいかに 理解する  
 指導をふりかざり物 個別訪問 試してみたい  
 中量研 幼小中の 2年研 連携する

① 幼小中 研習会 (お互いに話す)  
 ② ふりかざり個表の活用

「ふりかざり個表」 活用方法  
 ① 個人内評価  
 ② 相互評価  
 ③ 相対評価  
 ④ 絶対評価

「いじり」? 「さげすみ」? 親子の割合は?

「いじり」? 「さげすみ」? 親子の割合は?

「いじり」? 「さげすみ」? 親子の割合は?

会を通して、保幼小・小・中で「子どもの気持ちを受け止める」「子どもに寄り添う」「主体性を伸ばす」など、たくさんの繋がりが確認できました。そして、**「保幼小・小・中で話をする機会をつくる」「『振り返り個票』のねらいを共通理解し活用方法を検討する」「幼児教育をみんなで学ぶ」**など、来年度学園として取り組んでいく具体も見えてきました。

12年間の学びを保幼小・小・中で考えていくことは、私たちの指導に自信と説得力を与え、子どもの健やかな成長に繋がります。